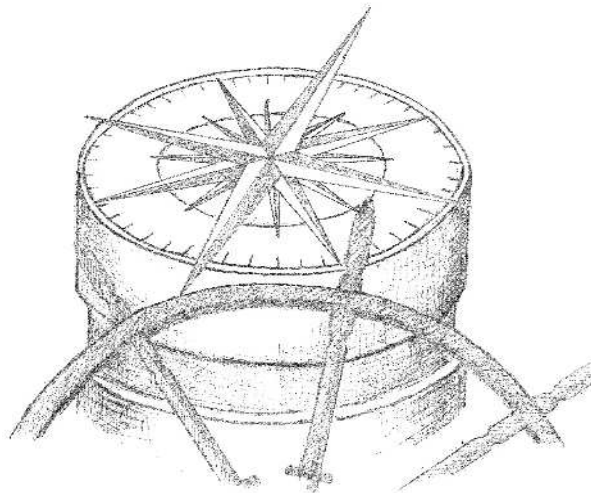


令和4年度
全国学力・学習状況調査結果分析
(始良・伊佐地区)



令和5年3月
始良・伊佐教育事務所

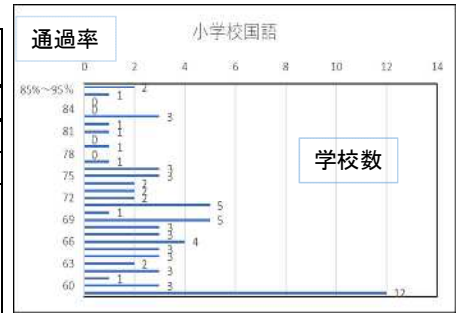
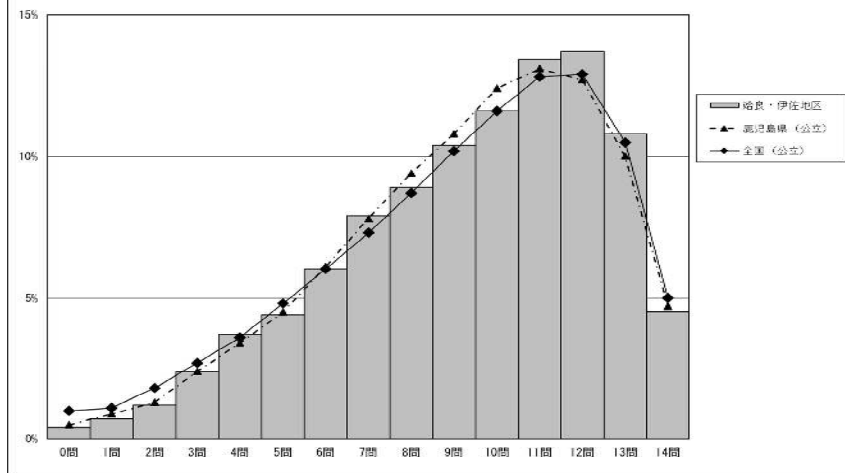
令和4年度教科別結果 小学校国語

1 本地区の学力に関する実態 (1) 正答率について

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値
始良・伊佐地区	2,122	9.3/14	67	10問
鹿児島県(公立)	13,488	9.3/14	66	10問
全国(公立)	965,308	9.2/14	65.8	10問

【概況】

- 全国平均を上回った分野
「書くこと」(全国比+3.0)「話すこと・聞くこと」(+0.1)
- △ 全国平均を下回った分野
「読むこと」(全国比-3.0)



正答数集計値				
正答数	児童数	始良・伊佐教育事務所	割合(%)	全国(公立)
14問	96	4.5	4.7	5.0
13問	230	10.8	10.0	10.5
12問	290	13.7	12.7	12.9
11問	285	13.4	13.1	12.8
10問	247	11.6	12.4	11.6
9問	220	10.4	10.8	10.2
8問	188	8.9	9.4	8.7
7問	168	7.9	7.8	7.3
6問	127	6.0	6.1	6.0
5問	93	4.4	4.5	4.8
4問	79	3.7	3.4	3.6
3問	50	2.4	2.4	2.7
2問	26	1.2	1.3	1.8
1問	14	0.7	0.9	1.1
0問	9	0.4	0.5	1.0

(3) 問題別集計結果

領域	話すこと・聞くこと				読むこと				書くこと		言葉の特徴や使い方に関する事項				言語文化
問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
全国	85.5	68.8	84.7	47.7	68.4	70.6	68.3	59.2	59.2	37.7	65.2	58.7	67.1	77.9	
県	85.6	68.4	82.2	47.8	65.9	66.7	68.0	56.8	62.9	38.8	66.0	61.3	74.4	82.1	
地区	85.8	68.1	83.3	49.2	66.1	64.8	66.6	56.9	62.9	40.0	69.0	62.8	75.7	83.7	
全国差	0.3	-0.7	-1.4	1.5	-2.3	-5.8	-1.7	-2.3	3.7	2.3	3.8	4.1	8.6	5.8	

【概況】

- 「書くこと」：文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける問題で、全国を上回った。
- 「話すこと・聞くこと」：話し手が伝えたいことや自分の聞きたいことの中心を捉えることについては課題があるが、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題は全国を上回った。
- △ 「読むこと」：登場人物の行動や心情を叙述を基に捉える問題、人物像や物語の全体像を具体的に想像する問題に課題。

2 具体的な対策

※ 全国学力・学習状況調査等の結果資料等を活用し、指導の妥当性を確認するとともに、思考量や表現量、判断量を加味した「力強い授業」づくりを一層推進する。

【話すこと・聞くこと】

- ・ 話し合いの目的を児童にしっかりと理解させ、話し合いの様子をタブレット等で録画し、目的を達成しているか検証する。
- ・ 話し合いやスピーチ、発表等、他者の考えや意見を聞く際は、話の中心、参考となるところをメモをとらせ、相互に交流させる。

【書くこと】

- ・ 時間と字数を設定した書く活動の充実並びに教師の確実な見届けを行う。(表現力育成の継続)
- ・ 書いた文章を交流し、互いに感想や改良点等を共有させるとともに、文章を練り直させる。(タブレット等の活用)

【読むこと】

- ・ 書かれている内容に対する自分の考えや意見をまとめ、共有させる。
- ・ 叙述を基に登場人物の心情を捉える授業の充実を図る。特に、発表の際は根拠を明確にさせる。

3 参考資料

令和4年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析 P24～29, P30～31

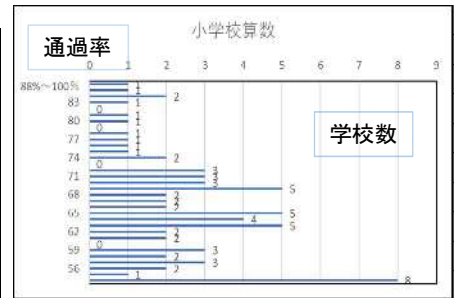
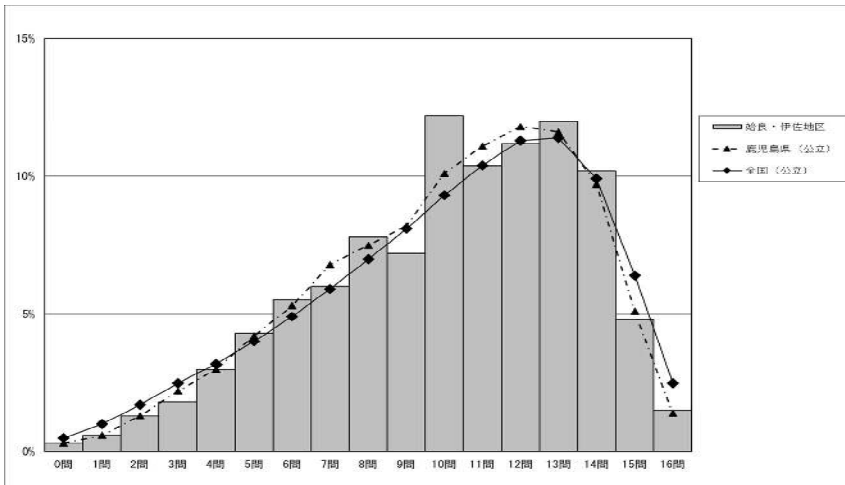
令和4年度教科別結果 小学校算数

1 本地区の学力に関する実態 (1) 正答率について

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値
始良・伊佐地区	2,125	10.1/16	63	11問
鹿児島県(公立)	13,493	10.1/16	63	11問
全国(公立)	965,431	10.1/16	63.2	11問

【概況】

- 全国平均を上回った分野
「数と計算」(全国比+1.9)
- △ 全国平均を下回った分野
「変化と関係」(全国比-0.6), 「図形」(-1.6), 「データの活用」(-1.5)



正答数集計値				
正答数	児童数		割合(%)	
	始良・伊佐教育事務所	始良・伊佐教育事務所	鹿児島県(公立)	全国(公立)
16問	31	1.5	1.4	2.5
15問	102	4.8	5.1	6.4
14問	217	10.2	9.7	9.9
13問	256	12.0	11.6	11.4
12問	238	11.2	11.8	11.3
11問	220	10.4	11.1	10.4
10問	259	12.2	10.1	9.3
9問	153	7.2	8.2	8.1
8問	165	7.8	7.5	7.0
7問	127	6.0	6.8	5.9
6問	116	5.5	5.3	4.9
5問	91	4.3	4.2	4.0
4問	64	3.0	3.0	3.2
3問	39	1.8	2.2	2.5
2問	28	1.3	1.3	1.7
1問	13	0.6	0.6	1.0
0問	6	0.3	0.3	0.5

(3) 問題別集計結果

領域	数と計算				変化と関係				数と計算 データ活用	データの活用			図形			
問題番号	1 (1)	1 (2)	1 (3)	1 (4)	2 (1)	2 (2)	2 (3)	2 (4)	3 (1)	3 (2)	3 (3)	3 (4)	4 (1)	4 (2)	4 (3)	4 (4)
全国	92.4	72.2	76.0	34.8	71.1	64.6	21.4	48.0	75.3	63.9	66.8	67.7	48.8	83.2	66.5	57.6
県	93.9	77.8	81.3	33.3	67.2	66.4	21.3	46.2	75.2	60.6	64.1	69.7	47.3	82.8	65.0	53.3
地区	93.8	77.1	82.7	32.4	68.1	67.2	21.4	46.2	75.5	61.5	64.5	68.8	46.9	84.4	65.4	52.8
全国差	1.4	4.9	6.7	-2.4	-3.0	2.6	0.0	-1.8	0.2	-2.4	-2.3	1.1	-1.9	1.2	-1.1	-4.8

【概況】

- 「数と計算」: ほとんどの問題で全国・県の平均を上回った。
- △ 「変化と関係」: 百分率で表された割合を分数で表す問題や比例関係を用いて数量を求める問題に課題あり。
- △ 「データの活用」: 分類・整理されたデータを基に目的に応じてデータの特徴を捉え考察する問題に課題あり。
- △ 「図形」: プログラミングを活用しながら、図形を構成する要素に着目して様々な図形を構成する問題に課題あり。

2 具体的な対策

※ 全国学力・学習状況調査等の結果資料等を活用し、指導の妥当性を確認するとともに、思考量や表現量、判断量を加味した「力強い授業」づくりを一層推進する。

【図形】

- ・ 児童が苦手な分野について、補充指導や個別指導をするなど、確実な理解につなげる。

【データと活用】

- ・ グラフやデータについて、何を読み取ればよいか、読み取れることは何かを捉える学習を繰り返し取り組む。

【変化と関係】

- ・ 百分率を活用する問題に課題があるので、苦手意識をなくすために、再度学習する時間を設定したり、類題に取り組ませたりするなど、確実に力を付けるようにする。
- ・ 文章問題を学習課題や発展課題等に取り入れた授業を展開する。
- ・ 教師がポストテスト等で、児童に確実に力が身に付いているかを確実に見届ける。

3 参考資料

令和4年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析 P24~29, P34~35

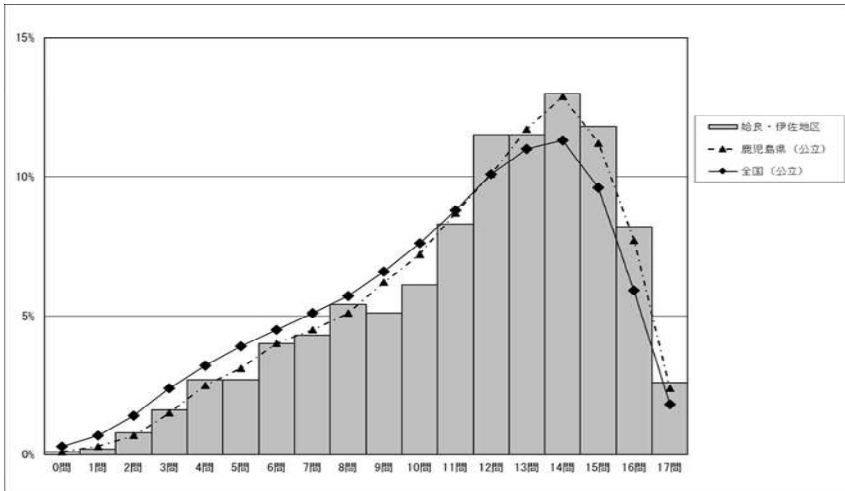
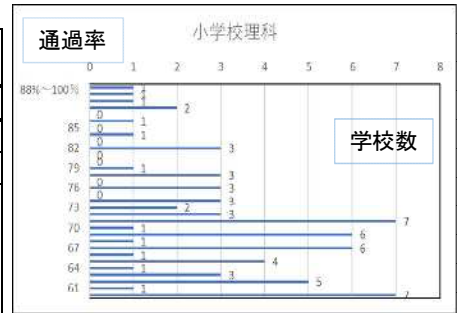
令和4年度教科別結果 小学校理科

1 本地区の学力に関する実態 (1) 正答率について

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値
始良・伊佐地区	2,130	11.5/17	68	12問
鹿児島県(公立)	13,511	11.4/17	67	12問
全国(公立)	965,761	10.8/17	63.3	11問

【概況】

- 全国平均を上回った分野
「エネルギー」(全国比+2.6), 「粒子」(全国比+9.0)
「生命」(全国比+2.3), 「地球」(全国比+5.3)
- △ 全国平均を下回った分野 なし



正答数集計値				
正答数	児童数	割合(%)	鹿児島県(公立)	全国(公立)
17問	56	2.6	2.4	1.8
16問	175	8.2	7.7	5.9
15問	251	11.8	11.2	9.6
14問	276	13.0	12.9	11.3
13問	245	11.5	11.7	11.0
12問	245	11.5	10.1	10.1
11問	177	8.3	8.7	8.8
10問	129	6.1	7.2	7.6
9問	109	5.1	6.2	6.6
8問	116	5.4	5.1	5.7
7問	92	4.3	4.5	5.1
6問	86	4.0	4.0	4.5
5問	57	2.7	3.1	3.9
4問	58	2.7	2.5	3.2
3問	34	1.6	1.5	2.4
2問	17	0.8	0.7	1.4
1問	4	0.2	0.3	0.7
0問	3	0.1	0.1	0.3

(3) 問題別集計結果

領域	「生命」を柱とする領域					「数子」を柱とする領域				「エネルギー」を柱とする領域				「地球」を柱とする領域			
問題番号	1 (1)	1 (2)	1 (3)	1 (4)	1 (5)	2 (1)	2 (2)	2 (3)	2 (4)	3 (1)	3 (2)	3 (3)	3 (4)	4 (1)	4 (2)	4 (3)	4 (4)
全国	92.9	67.5	73.1	76.1	65.5	67.8	70.0	62.8	39.3	27.8	74.4	68.9	35.1	82.3	64.5	45.5	62.0
県	93.8	71.3	78.3	75.6	64.9	68.3	76.5	61.2	39.7	30.4	74.9	70.8	34.5	81.8	70.2	46.1	80.1
地区	93.4	72.9	78.8	75.5	65.7	90.4	76.6	60.7	40.5	31.5	76.9	72.1	36.2	81.3	70.9	46.3	79.0
全国差	0.5	5.4	5.7	-0.6	0.2	22.6	6.6	-2.1	1.2	3.7	2.5	3.2	1.1	-1.0	6.4	0.8	17.0

【概況】

- ほとんどの問題で全国・県の平均を上回った。
- △ 実験結果から、問題に対するまとめを検討し、改善して自分の考えをもつことや、観察で得た結果を、結果から言える視点で分析し、解釈して、自分の考えをもつこと。

2 具体的な対策

- ※ 全国学力・学習状況調査等の結果資料等を活用し、指導の妥当性を確認するとともに、思考量や表現量、判断量を加味した「力強い授業」づくりを一層推進する。
- ・ できない分野について、補充指導や個別指導をするなど、確実な理解につなげる。
- ・ 実験結果を基に、考察したことをまとめるとともに、グループで意見を交流させて考え等を確認し合う時間をつくる。
- ・ 提示された実験結果から分かったことをまとめる時間を確保するとともに、結果から言えることは何か、自分の考えをまとめて発表する力を高める。

3 参考資料

令和4年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析 P24~29, P38~39

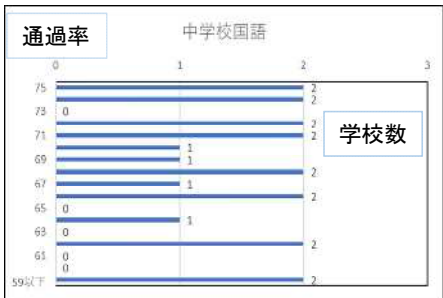
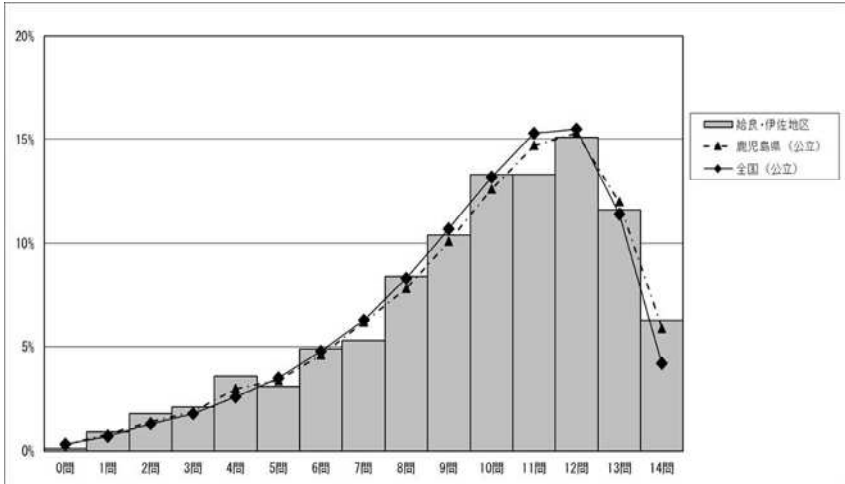
令和4年度教科別結果 中学校国語

1 本地区の学力に関する実態 (1) 正答率について

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値
始良・伊佐地区	1,939	9.5/14	69	10問
鹿児島県(公立)	12,583	9.7/14	69	10問
全国(公立)	891,820	9.7/14	69.0	10問

【概況】

- 全国平均を上回った分野
「書くこと」(全国比+2.3)
- △ 全国平均を下回った分野
「話すこと・聞くこと」(全国比-3.3), 「読むこと」(全国比-4.5)



正答数集計値				
正答数	生徒数	割合(%)		
	始良・伊佐教育事務所	始良・伊佐教育事務所	鹿児島県(公立)	全国(公立)
14問	122	6.3	5.9	4.2
13問	225	11.6	12.0	11.4
12問	292	15.1	15.3	15.5
11問	257	13.3	14.7	15.3
10問	258	13.3	12.6	13.2
9問	201	10.4	10.1	10.7
8問	163	8.4	7.8	8.3
7問	102	5.3	6.2	6.3
6問	95	4.9	4.6	4.8
5問	61	3.1	3.4	3.5
4問	69	3.6	3.0	2.6
3問	40	2.1	1.9	1.8
2問	34	1.8	1.4	1.3
1問	18	0.9	0.8	0.7
0問	2	0.1	0.3	0.3

(3) 問題別集計結果

領域	話すこと・聞くこと			言葉の特徴や使い方にに関する事項			書くこと			読むこと			我が国の言語文化に関する事項		
問題番号	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三
全国	74.7	65.1	51.8	82.3	82.1	80.5	46.5	52.5	84.0	62.0	73.8	39.4	90.1	81.1	
県	74.0	62.2	55.0	79.5	85.0	80.8	51.2	49.4	81.9	59.1	74.0	50.7	89.2	79.9	
地区	70.5	59.0	52.2	75.8	81.3	77.1	48.8	46.7	78.2	56.2	70.5	48.7	85.1	76.3	
全国差	-4.2	-6.1	0.4	-6.5	-0.8	-3.4	2.3	-5.8	-5.8	-5.8	-3.3	9.3	-5.0	-4.8	

【概況】

- 「書くこと」: 自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書く問題について、全国平均を上回った。
- △ 「読むこと」: 場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する問題、場面と場面、場面と描写等を結びつけて、内容を理解する問題に課題あり。
- △ 「話すこと・聞くこと」: 聞き手の興味・関心等を考慮して表現を工夫したり、論理の展開に注意して聞く問題に課題あり。

2 具体的な対策

※ 全国学力・学習状況調査等の結果資料等を活用し、指導の妥当性を確認するとともに、思考量や表現量、判断量を加味した「力強い授業」づくりを一層推進する。

【話すこと・聞くこと】

- ・ 話し合いを行う機会を増やすとともに、話し手の発表のメモや、相手意識(考えの違う人等)をもった発表等に取り組む。
- ・ 相手の立場や考えをしっかりと受け止め、それに対しどのように考えたか意見を述べたり、質問・助言したりするなどの機会を増やす。

【書くこと】

- ・ 書く活動の充実を継続して実施する。(相手意識・構成・表現の工夫)
- ・ 時間や字数を制限して、条件の中で自分の考えや意見を書く活動を「読むこと」等の学習にも取り入れる。

【読むこと】

- ・ 文学的文章の学習について、登場人物の心情の変化等を捉える学習の充実(発言や行動の変化を探る等)を図る。
- ・ 多様な種類の文章を読み、理解したことを文章等でまとめる取組を更に充実する。
- ・ 言語活動例にもあるが、読んで理解したことを解説したり、感想等を含めて伝え合ったりするなど、活動の充実を図る。

3 参考資料

令和4年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析 P24~29, P32~33

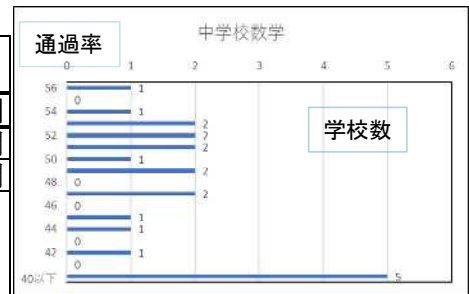
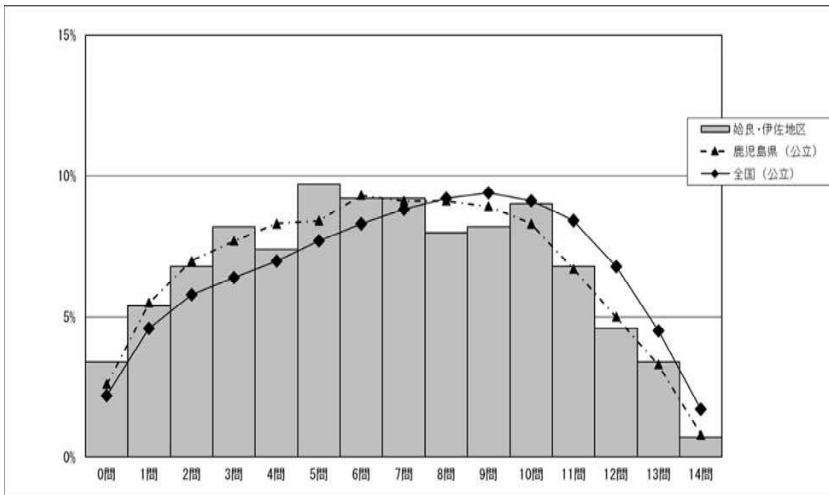
令和4年度教科別結果
中学校数学

1 本地区の学力に関する実態
(1) 正答率について

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値
始良・伊佐地区	1,940	6.6/14	47	7問
鹿児島県(公立)	12,593	6.6/14	47	7問
全国(公立)	891,913	7.2/14	51.4	7問

【概況】

- 全国平均を上回った分野…なし
- △ 全国平均を下回った分野
「関数」(全国比-6.0), 「データの活用」(全国比-2.1)
「数と式」(全国比-6.0), 「図形」(全国比-4.0)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合(%)		
	始良・伊佐教育事務所	始良・伊佐教育事務所	鹿児島県(公立)	全国(公立)
14問	14	0.7	0.8	1.7
13問	66	3.4	3.3	4.5
12問	89	4.6	5.0	6.8
11問	131	6.8	6.7	8.4
10問	175	9.0	8.3	9.1
9問	160	8.2	8.9	9.4
8問	156	8.0	9.1	9.2
7問	178	9.2	9.1	8.8
6問	179	9.2	9.3	8.3
5問	189	9.7	8.4	7.7
4問	143	7.4	8.3	7.0
3問	159	8.2	7.7	6.4
2問	131	6.8	7.0	5.8
1問	104	5.4	5.5	4.6
0問	66	3.4	2.6	2.2

(3) 問題別集計結果

領域		数と式		図形	関数	データの活用		数と式		データの活用		関数	図形	
問題番号	1	2	3	4	5	6 (1)	6 (2)	6 (3)	7 (1)	7 (2)	8 (1)	8 (2)	9 (1)	9 (2)
全国	52.2	74.5	44.9	37.9	83.3	73.8	48.7	37.6	44.0	44.1	54.6	38.4	73.2	12.5
県	37.8	70.0	42.5	32.2	81.9	67.8	45.4	34.6	42.1	43.5	50.6	35.7	68.7	8.8
地区	41.9	69.6	43.3	31.7	80.2	67.1	44.3	34.2	41.3	43.5	47.1	33.9	68.1	7.3
全国差	-10.3	-4.9	-1.6	-6.2	-3.1	-6.7	-4.4	-3.4	-2.7	-0.6	-7.5	-4.5	-5.1	-5.2

【概況】

- △「データの活用」: データの傾向を読み取る設問, 箱ひげ図を読み取る設問に課題あり。
- △「数と式」: 素因数分解, 事柄が成り立つ理由を説明する設問に課題あり。
- △「図形」: 三角形の合同条件を説明する設問, 筋道を立てて, 角の大きさを説明する設問に課題あり。

2 具体的な対策

※ 全国学力・学習状況調査等の結果資料等を活用し, 指導の妥当性を確認するとともに, 思考量や表現量, 判断量を加味した「力強い授業」づくりを推進する。

【数と式】

- ・ 補充指導や家庭学習等をととして, 計算力を高める取組を図る。
- ・ 素因数分解や文字式等の問題については, 普段の家庭学習やテスト等で必ず出題し, 力を高める。
- ・ 課題の続く方程式については, プレテストで取り組ませたり, 各学期のテストで出題したりする等, 確実な定着を図る。

【データの活用】

- ・ ヒストグラムだけでなく, 「箱ひげ図」を作成したり, 読み取ったりする活動を授業に取り入れる。

【図形】

- ・ 図形の証明問題は演繹的思考にふれる機会でもあるので, 書いて説明する機会を増やすとともに, 証明問題を解く機会を増やす。
- ・ 図形が成り立つ条件を基にした問題を, 各学期のテストで出題したり, 家庭学習の課題にしたりする。

【関数】

- ・ 関数の授業でポストテストを実施し, 学力が定着しているかを見届ける。

3 参考資料

令和4年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析 P24~29, P36~37

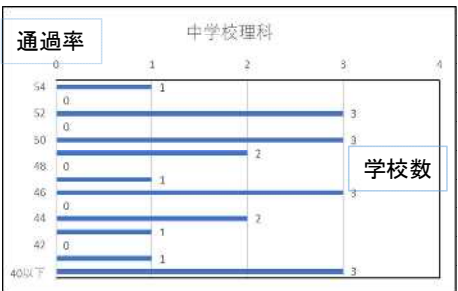
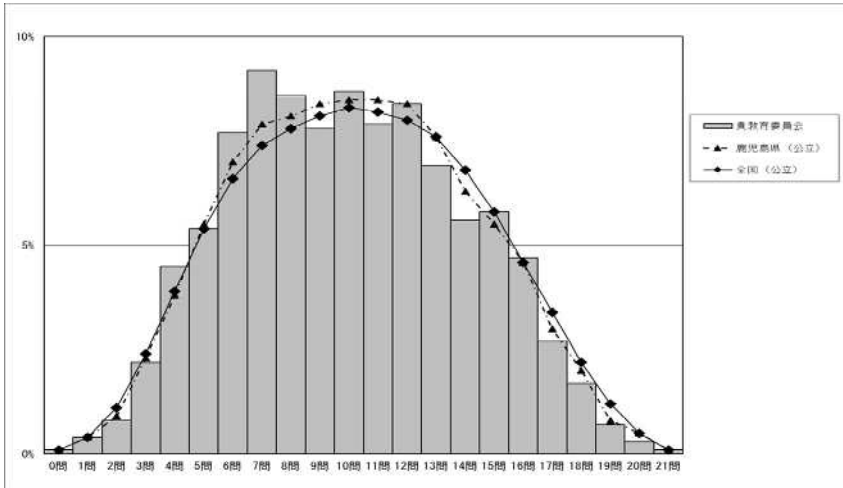
令和4年度教科別結果 中学校理科

1 本地区の学力に関する実態 (1) 正答率について

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	最頻値
始良・伊佐地区	1,940	10.0/21	48	9問
鹿児島県(公立)	12,597	10.2/21	49	9問
全国(公立)	892,585	10.4/21	49.3	9問

【概況】

- 全国平均を上回った分野…なし
- △ 全国平均を下回った分野
「エネルギー」(全国比-0.6), 「粒子」(全国比-3.1)
「生命」(全国比-0.9), 「地球」(全国比-2.5)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	始良・伊佐教育事務所	鹿児島県(公立)	全国(公立)
21問	1	0.1	0.1	0.1
20問	6	0.3	0.5	0.5
19問	14	0.7	0.8	1.2
18問	33	1.7	2.0	2.2
17問	52	2.7	3.0	3.4
16問	92	4.7	4.6	4.6
15問	112	5.8	5.5	5.8
14問	108	5.6	6.3	6.8
13問	134	6.9	7.6	7.6
12問	162	8.4	8.4	8.0
11問	153	7.9	8.5	8.2
10問	168	8.7	8.5	8.3
9問	151	7.8	8.4	8.1
8問	166	8.6	8.1	7.8
7問	179	9.2	7.9	7.4
6問	149	7.7	7.0	6.6
5問	105	5.4	5.5	5.4
4問	88	4.5	3.8	3.9
3問	43	2.2	2.3	2.4
2問	16	0.8	0.9	1.1
1問	7	0.4	0.4	0.4
0問	1	0.1	0.1	0.1

(3) 問題別集計結果

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
全国	44.2	78.5	54.2	40.8	28.5	80.1	60.2	24.8	74.5	65.6	15.3	45.0	43.3	48.0	60.3	34.2	35.9	53.4	55.2	55.1	39.2
県	43.3	79.5	52.3	39.1	27.4	81.2	57.9	21.1	74.2	63.1	21.4	43.9	44.8	48.4	58.9	30.4	32.5	50.6	54.3	55.0	44.9
地区	44.5	79.0	51.3	36.8	25.6	81.1	57.9	20.9	72.9	61.4	20.7	42.4	42.5	49.6	59.0	28.3	31.0	48.2	52.9	55.1	43.0
全国差	0.3	0.5	-2.9	-4.0	-2.9	1.0	-2.3	-3.9	-1.6	-4.2	5.4	-2.6	-0.8	1.6	-1.3	-5.9	-4.9	-5.2	-2.3	0.0	3.8

【概況】

- △「エネルギー」: 課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能に課題あり。
- △「粒子」: 質量変化を問う設問や、状態変化について問う設問、実験結果を基に考察する設問に課題あり。
- △「生命」: セキツイ動物の骨格に関する設問、実験結果を分析・解釈し考察する設問に課題あり。

2 具体的な対策

※ 全国学力・学習状況調査等の結果資料等を活用し、指導の妥当性を確認するとともに、思考量や表現量、判断量を加味した「力強い授業」づくりを推進する。

【エネルギー】

- ・ 補充指導や家庭学習等を通して、問題を解く力を高める取組の充実を図る。
- ・ 図表やグラフの読み取りや作成をととして、何を伝えたいのかを読み取ったり説明したりする活動を取り入れる。

【粒子・生命】

- ・ 質量変化に関する問いに対応する力を高めるために、演習問題等に取り組ませる。
- ・ 実験結果を基に、考察したことをまとめる力、グループで意見を交流し、検証する活動を行わせる。
- ・ 提示された条件から、何を求めたらよいか、何を説明できるかを考え、実際に説明する場を多く設定する。

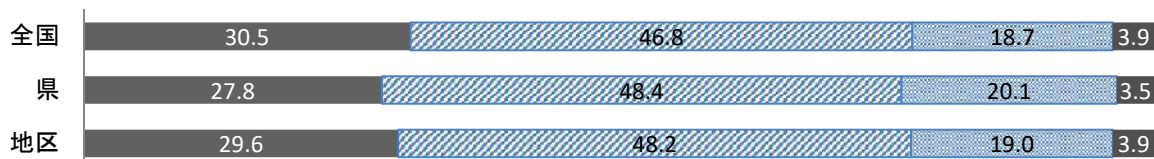
3 参考資料

令和4年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析 P24~29, P40~41

【小学校】児童質問紙から（抜粋）

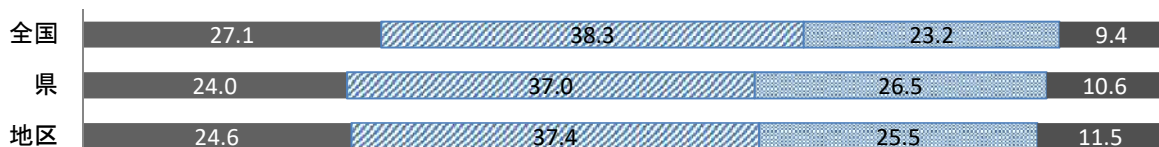
① 5年生までに受けた授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



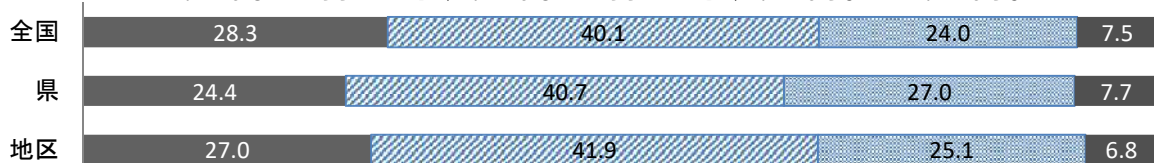
② 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表できた

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



③ 5年生までに受けた授業で、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出す活動を行った

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



【概況】

- 全国平均を下回っているのは、①「5年生までに受けた授業で課題解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた」から③「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出す活動を行った」の全てにおいて、「当てはまる」と回答した児童の割合であった。

【今後の取組】

「児童の考えや意見をつなぐ授業」

- 児童が、導入段階で学習する必然性を感じるような学習課題を設定するとともに、これまでの学習を振り返り、学習の見通しをもたせる。
(全国学調「報告書」国語 P 42, 理科 P 46～47)
- 決められた時間や指定された字数で自分の考えや意見を書いたり、説明したりする活動を取り入れた授業の充実を図る。また、発表したことについて、互いに質問したり、感想を共有したりする活動を展開の段階で取り入れた授業の充実を図る。
(全国学調「報告書」国語 P 46, 算数 P 68)



国語



算数

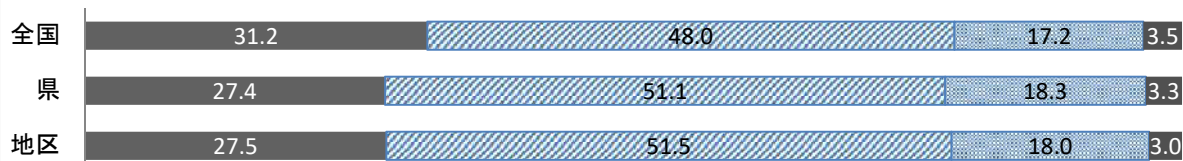


理科

【中学校】生徒質問紙から（抜粋）

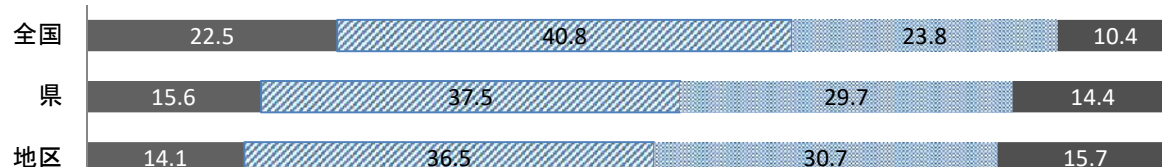
① 1・2年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自ら考え、自分から取り組んでいた

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



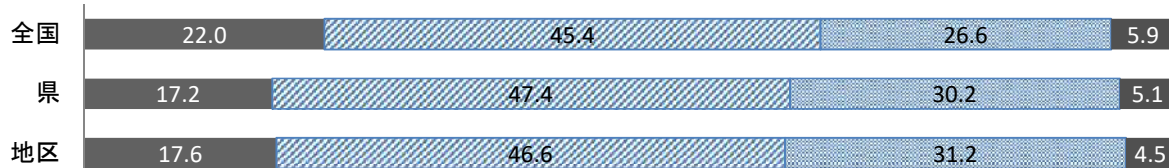
② 1・2年生までの授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



③ 1, 2年生までに受けた授業で、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えを基に新しいものを作り出す活動を行った

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



【概況】

- ②「自分の考えが相手にうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表をしていたか」、③「1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えを基に新しいものを作り出す活動を行った」という質問に対して「当てはまる」と解答した生徒の割合は、全国と比較しても低い。
- 小学校と比較すると、「当てはまる」と回答している生徒の割合がいずれも低い。

【今後の取組】

「生徒の考えや意見を深め、『分かった、できた』を実感できる授業」

- 導入段階で生徒に、学習する必然性をもたせる学習課題を設定するとともに、学習の見通しをもたせ、結果を予想したり、資料等を検討したりする。
(全国学調「報告書」国語P39～41, 理科P48～49)
- 展開の段階で、自分の考えや意見をまとめる時間を確保するとともに、交流や共有を通して比較したり、練り合ったりするなど発表するだけでなく、考えや意見をグループやペアで深める取組を全ての教科で行う。
(全国学調「報告書」国語P50～53, 数学P51～52, 理科P74～75)
- 小学校と連携し、授業を通じた研修の充実を一層図る。



国語



数学



理科